健康づくりに関しましては、保健福祉センターを拠点に健康教育、健康相談をはじめ、各種検診、機能訓練などの保健サービスを総合的、機能的に行ってまいります。なお、乳幼児の予防接種につきましては、医師会等との連携をはかりながら、可能な限り集団接種方式から個別接種方式に移行することといたしました。

昨年の『労働白書』によりますと、欧米諸国に比べて日本の高齢者の働く意欲は、際立って高いことが報告されています。勤勉な国民性という側面もありますが、何よりも健康な高齢者が多いことの証ではないかと思います。やはり健康は自分に贈ることができる最高の宝物ですので、日頃から自らの健康を管理する生活習慣を身につけていただきたいと願うものであります。

ところで近年、福祉に対する需要は、質・量とも大きく変化しつつあります。一方、行政には「限りある財源」という看過できない現実があります。こうしたなか、時代の要請に応える福祉施策を展望するとき、受益と負担の調整に柔軟に対処できるものでなければ、地域福祉は成立しないのではないかとの感を強くしているところであります。

行政は、納税者である市民の皆さんへの責任として、どのような人々に対してどのように手を差しのべていくべきなのか。ここのところをきちんと整理したうえで、すべての事業を仔細に点検してまいりたいと考えております。

次に、快適な生活環境をつくるための施策であります。

まず、廃棄物対策でありますが、ごみの減量化と資源化は、市民の皆さんのご理解、ご努力によって着々と成果を上げてまいりました。しかし、むしろこれからが本番であります。もとよりごみは、焼却や埋め立てによって解決する問題ではありません。私たちが問われているのは、ごみ処理ではなく、資源を大切にし地球環境を守る視点であります。「二十一世紀は循環・共生の時代」との認識のもと、ごみ文化のさらなる深化を市民の皆さんに不断に呼びかけてまいりたいと考えております。

なお、ペットボトルを平成十一年度から資源ごみとするため、分別回収に向けた準備を進めてまいります。

また現在、廃棄物減量等推進審議会に諮問申し上げております、ごみのポイ捨てと犬の糞害問題につきましては、答申をいただきましたのち速やかに条例化を検討してまいりたいと考えております。

し、環境基本条例の制定、環境基本計画の策定につきましても精力的に取り組んでまいる所存であります。

分別回収で資源を大切に

快適な生活環境を考えますとき、河川の様相もまた人々の日々の生活を映す鏡であります。

昨年の十二月一日から施行された改正河川法を見ますと、河川管理の目的にこれまでの治水、利水のほかに、水質、景観、生態系など、河川環境の整備と保全が加えられました。これは、河川の持つ多様な自然環境や水辺空間に対する要請の高まりに応えるものであります。

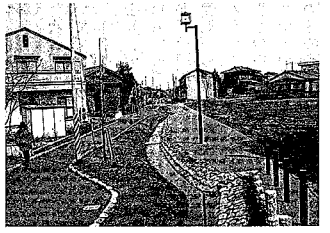
当市におきましては、信濃川、阿賀野川の二大河川を有し、しかもかつて川港として栄えた歴史に鑑みて、下水道の普及、水と緑のネットワーク構想など、公共水域を意識した事業を意欲的に展開してまいりました。また、「水と暮らしのフェスティバル」をはじめ、「あがの川大花火大会」、鮭の稚魚や蛍の幼虫の放流等、川と水の再発見につながればとの期待感を込めたイベントにも取り組んできたところであります。

申すまでもなく、水と生命、川と生活は密接不可分の関係にあります。しかしながら、こうした意識には濃淡があることも事実であります。今後も、下水道供用区域内の未接続世帯にご理解を求めてまいりますとともに、快適な水環境づくりに向けた啓発活動にいっそう力を入れていきたいと考えております。

なお、阿賀野川の豊かな自然環境を生かした「阿賀野川水辺プラザ計画」を実現すべく、安田町、水原町と緊密な連携をとりながら、鋭意、国に働きかけてまいる考えであります。

次に、消防・防災に関する施策であります。

平成八年度から進めてまいりました本町と吉岡町の間を結ぶ避難路、及び本年度から二か年計画で整備をはかってまいりました耐震式貯水槽につきましては、新年度をもちまして完工したいと考えております。また引き続き、初期消火を目的とした消雪用井戸の整備、防火水槽、消火栓の設置に努めるほか、幹線排水路の改修、側溝の新設を計画的に進め水害の解消に資してまいりたいと思います。


潤いのある水辺空間

昨年は、幸いにして大きな天災等に見舞われることもなく、比較的穏やかな年となりました。しかし、忘れた所と忘れた頃にやって来るのが災害であります。また忘れた心は、被災規模の増大につながります。

先に総理府が実施した世論調査では、阪神・淡路の大震災から時間が経過するにつれて、災害に対する警戒感が薄れつつあることを示しています。いっそう防災意識の啓発、自主防災組織の育成等に意を用い、備えを固めることの重要性を強調してまいりたいと考えております。

以上、『人と環境にやさしい市民生活の創造』に関する諸施策を申し述べてまいりましたが、このほか、高齢者や交通弱者に配慮した新栄町地内のコミュニティ道路、水田用水第一号幹線を活用したサイクリングロード、さらには、交通量の緩和と地球環境の保全を考えたパーク・アンド・ライド・システムにつきましても積極的に推し進めていく考えであります。

一方、首相の諮問機関であります「食料・農業・農村基本問題調査会」から出された中間取りまとめに目を転じますと、揺れる農業実態を映すかのように、農業の位置づけ、食料自給率の目標設定等について、対峙する両論を併記しております。

2 活力あふれる息吹の創造

最初に農業であります。

世界経済と密接な関係におかれた日本の米づくりが揺れています。市場原理という厳しい掟のなかで米価は下落し、その結果、生産調整面積が大幅に上積みされました。

国は「緊急生産調整推進対策」を決定し、生産調整の減収分を農家で補い合う「全国とも補償制度」、米価下落時に一定の割合で減収分を補てんする「稲作経営安定対策」を打ち出しております。また、転作等の助成金体系も見直しがはかられたところであります。

※パーク・アンド・ライド・システム…自家用車と鉄道・バスなどの公共交通機関を複合的に利用する交通体系

●放課後児童対策事業…541万円
小学校低学年の留守家庭児童を対象に、三施設で学童保育を行います。

●市民健診事業…8022万円
市民の健康づくりのため、基本健康診査を実施します。

●予防接種事業…3862万円
乳幼児を対象として可能な限り集団接種から個別接種へ移行します。

●廃棄物減量等推進事業…5364万円
指定袋でのごみ収集に要する経費です。

●水と緑のネットワーク公園事業…2500万円
水と緑の遊歩道に隣接する幸清水公園と山谷第一公園を住民参加により整備し、遊歩道とネットワーク化します。

●下水道整備事業（下水道事業特別会計）…19億1000万円
快適で住みよい生活環境づくりのため、下水道の整備を進めます。

●防災まちづくり事業…1億3000万円
吉岡町～第一小学校～西大通りを結ぶ避難路（歩道）の工事を進めてきましたが、今年度完成する予定です。

●防災体制整備事業…1000万円
消雪用井戸二か所を初期消火に活用できるよう改造します。

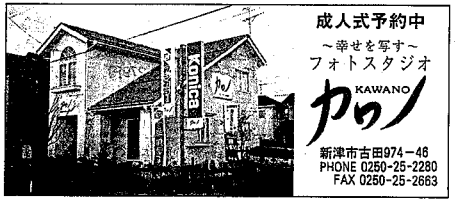
●市道新栄町10号線コミュニティゾーン形成事業…5000万円
新栄町地内に、高齢者や子どもの安全に配慮した歩行者優先の道路を整備します。今年度は四か年計画の二年目です。

●自転車道整備事業…8100万円
不要となった用水路を利用してサイクリングロードを作ります。今年度完成する予定です。

活力あふれる息吹の創造に関する主な事業

●農村総合整備事業…1億4250万円
東部地区の農道や集落道、農業排水路、農村公園の整備を行います。

お買物、ご用命は市内で


成人式予約中
～幸せを写す～
フォトスタジオ
カワノ KAWANO
新津市古田974－46
PHONE 0250-25-2280
FAX 0250-25-2663

手作り折詰弁当 さつき 1,000円（税別）
－好評発売中－
松花堂弁当も是非ご賞味下さい
新味割烹 春雨
本町1（駅前）☎22－1600(代)

引っ越しが決まったら 5日前までにご連絡下さい

■転出のとき
・現住所と電話番号
・お名前
・転出日時
・お客様番号
・転出先の住所と電話番号

■転入のとき
・転入先の住所
・お名前
・転入日時
・お客様番号

※お客様番号は「ガス使用量のお知らせ」「領収証」またはガスメーターの連絡用荷札に記載してあります。

越後天然ガス（株）
☎24－2171

お買物、ご用命は市内で